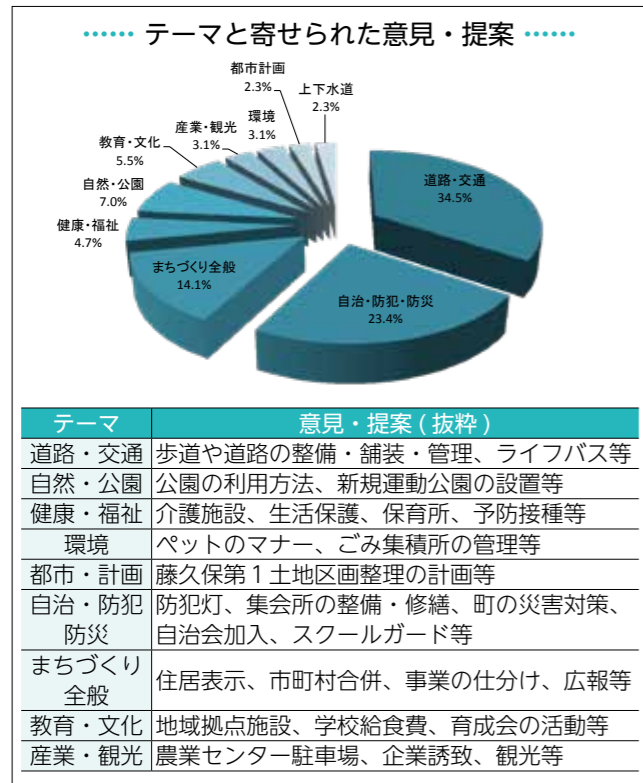


住民と町長が町の未来について語り合いました

# 〈まちづくり懇話会概要報告〉

懇話会で寄せられた意見や提案は、今後の町の政策形成に反映させていきます。参加者の皆さん、有意義な意見交換をありがとうございました。



### 468人が参加

住民の皆さんの声を、町の政策形成に反映させるため、6月10日(日)、16日(土)、17日(日)、24日(日)にまちづくり懇話会を行政区単位で開催いたしました。4日間合わせて468人が参加しました。

### 自由な意見交換

今年度は、町からの情報発信として、「町の財政状況」「防災対策」「スマートIC」「鶴瀬西通り線」について町長から

説明があつた後、各行政区からの質問事項の回答を行いました。さらに、当日参加した皆さんからの自由な意見交換という流れで懇話会は進められました。直接住民と意見交換ができる大変貴重で有意義な意見交換の場となりました。

寄せられた意見は、今後のまちづくりに活かす十分に検討し、町の政策形成に反映させていきます。

【問い合わせ】  
政策秘書室政策推進係  
☎4222～4224

9月12日(水) 10:00、10:30頃の2回実施

# 〈J-ALERT 全国一斉自動試験放送〉

災害時に、国の緊急情報を確実に伝えるため、試験放送を行います。  
【問い合わせ】自治安心課防犯防災係 ☎265・266

### 9月12日(水)実施

地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム(J-ALERT)から送られてくる国の緊急情報を確実に皆さんへ伝えるため、9月12日(水)午前10時、10時30分の2回、町内で緊急情報伝達手段の試験を行います。なお、二芳町以外の地域でも、全国的に様々な情報伝達手段で試験が実施されます。

### J・ALERTとは

J・ALERT(ジェイ・アラート)とは、対処に時間的余裕のない緊急情報を、国が衛星通信ネットワークを用いて直接送信し、市町村の防災行政無線を自動起動することにより、警報を住民へ瞬時に伝達するシステムです。

### 情報伝達手段

今回の試験放送では、「防災行政無線による放送」、二芳町地域コミュニティメールでの通知を行います。

### ① 防災行政無線による放送

町内30か所に設置してある防

### 〈地域コミュニティメール登録方法〉

地域コミュニティメールは、下記へ空メールを送信し登録してください。

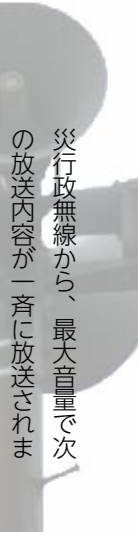
携帯・PCアドレス  
hustlefm@kizuna-sta.jp

QRコードから簡単に登録できます→

### ② 三芳町地域コミュニティによる通知

緊急時の防災行政無線だけでは情報伝達ができない人(お仕事を先で町内にいない人、屋内にいる人、聴覚障がい者等の)に、より確実に情報をお届けするメールサービスを利用し、試験放送が流れたことについてお知らせします。

【放送内容】  
「これは、試験放送です。(3回)」「こちらは、ぼうさいみよしです。」  
↓防災行政無線チャイム



7月7日(土)・8日(日)に実施しました

# 〈事業の仕分けの判定結果〉

今回の判定結果を参考に今後の事業の有り方などの検討を行い、町の方針を決定していきます。  
【問い合わせ】政策秘書室政策推進係 ☎422～424 FAX274-1054

事業名	判定結果と判定内容
地域福祉パス利用助成	内継続前提。目的整理、それに基づく調査を実施、他部署との連携を図りより良い事業に変えていく。利用パスへの変更やルートの改編を含めた改善を。
敬老祝金支給	内根本的に形態を見直す必要有。地域で使える商品券による、地域還元、町への寄付を可能にするなど工夫を。三芳に住んでいてよかったと思える内容に。
障がい者在宅支援	内個々の事務事業が有機的に動いているか、検討する必要有。ニーズ把握努力も。本当に困っている人に、必要十分なサービスが行き届くように。
歴史民俗資料館管理運営・整備	内継続前提。コストに関してしっかりとした視点を。人件費が適性かも見極める。サービス提供方法、広報にも工夫の余地がある。
図書館資料購入整備	内成果指標の設定を見直す余地がある。県内人口当たりの貸出冊数1位の結果の要因を掘り、他の図書館事業とも連動し、事業の質の向上を進めていく。
公民館学習講座	内どのような事業が住民の満足につながるのか検討。企画運営は、住民や有識者の知恵を借り、協働でおこなっていく。大学との連携も視野に含める。
小中一貫教育推進	内この事業で不登校が改善されたのかを示せる指標を。小中一貫教育の他のメリットを示す。保護者や地域との連携で、子どもたちを見守る必要がある。
三芳町立学校支援員配置	内長期的な視点で効果を計ることが必要。町の予算による事業のため、町の目標に即して進めると効果的で、住民も理解しやすい。

事業名	判定結果と判定内容
こども医療費支給	内拡充方向。「子育てしやすい町」といったシティプロモーションの一環となることも考慮し継続を。人件費は工夫の余地有。子ども1人あたりにかかる医療費を示すなど、もう少しわかりやすい指標を。
公立保育所管理運営	内民間の活用も考えた継続。統計等を分析し、保育士(特に臨時職員)の待遇なども考慮、改善しながら公立の良さを生かして継続していく。
学童保育室管理運営	内様々な調査(現状のニーズ、他自治体事業)を行い、NPOや民間等の選択肢を含め、どのように拡充するかを研究し、進めていく。
妊婦健康診査	内相談業務と合わせフォローをするなど、様々なアプローチを。他部署との連携を図り、子育て施策全体でどうしていくかを考えていく。
一般廃棄物収集運搬	内内容改善を含めた継続。業者に対するマネジメントを上手に工夫し、サービスの向上をはかる。委託料単価の算出方法の見直し、指標の見直しも検討。
ごみ処理施設維持管理	内成果指標の内容研究を。ごみ減量チャレンジを行い、低減目標を立てるとよい。業者との随意契約は町が主体的に管理し、事業効率を改善できる体制を。
消費生活相談	内内容改善の余地有。ホームページに限らない広報活動を。被害者が減るように、予防講座にも力を入れる。相談者による評価についても研究を。
緑地保全事業	内拡充方向。広く町民の利益に帰する事業であるため、選定過程の透明化、経過観察が大切。緑のトラストなどの検討を。「政策研究所」との連携を。

行政区、自治会に加入しましょう

# 〈地域コミュニティの勧め〉

皆さんは、隣近所の人をご存じですか？  
何かあったとき、近くに頼れる人はいますか？



ごみゼロ運動の様子

### 住みよいまちづくりに向けて

災害など「もしも」という時は、隣近所の人たちの助け合いが大切になります。大規模な災害が発生したら、自治会等の地域コミュニティが主体となり、初期行動を行うことで、被害をより少なくすることにつながります。

日頃から、地域の行事や活動に参加して、地域の方々と絆を深めるため、行政区、自治会等に加入して、一緒に安全・安心に暮らせる住みよいまちづくりを進めましょう。

### 行政区とは

同じ地域に住む、身近な地域コミュニティの組織です。私たちが暮らし続けるために欠かせない、皆さんの生活の支えとなる大切なものです。

### 主な活動

防災や防犯、福祉・子ども、交流・親睦など様々な活動を通して、地域に住む隣近所の皆さんとの絆、安心のコミュニティネットワークを形成しています。

### 行政区・自治会等に加入するには

各行政区の区長・副区長から自治会名等を確認のうえ、ご加入ください。また、各行政区がわからない人は町ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】  
自治安心課自治協働係  
☎268

防犯	地域防犯パトロール、青色防犯パトロールカーの運行、防犯灯の点検など
防災	自主防災会による防災訓練や研修、災害時の避難支援など
交流親睦	盆踊りや夏祭り、体育祭や運動会、各種交流行事
情報発信	行政情報やコミュニティ・生活情報の閲覧
環境美化	公園や道路の清掃活動や花の植栽など
福祉子ども	高齢者の見守り、敬老会、子ども会行事